

2022年度

島根大学大学院人間社会科学研究科修士課程

社会創成専攻地域経済コース

(第2次) 入試問題

【 地域経済論 】

(外国人留学生特別入試)

注 意

- 1 問題紙 4 ページ, 解答用紙 2 枚, 下書き用紙 2 枚である。
- 2 指示があつてから確認し, 解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は, 解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙, 下書き用紙は, 持ち帰ること。

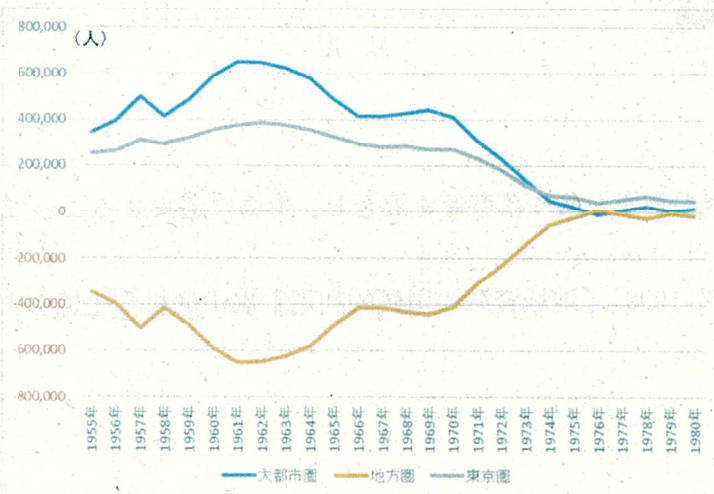
社会創成専攻地域経済コース 地域経済論 問題
(外国人留学生特別入試)

以下、2つの問題に答えなさい。解答は解答用紙（問題1と問題2）にそれぞれ1枚ずつ記入すること。

問題1

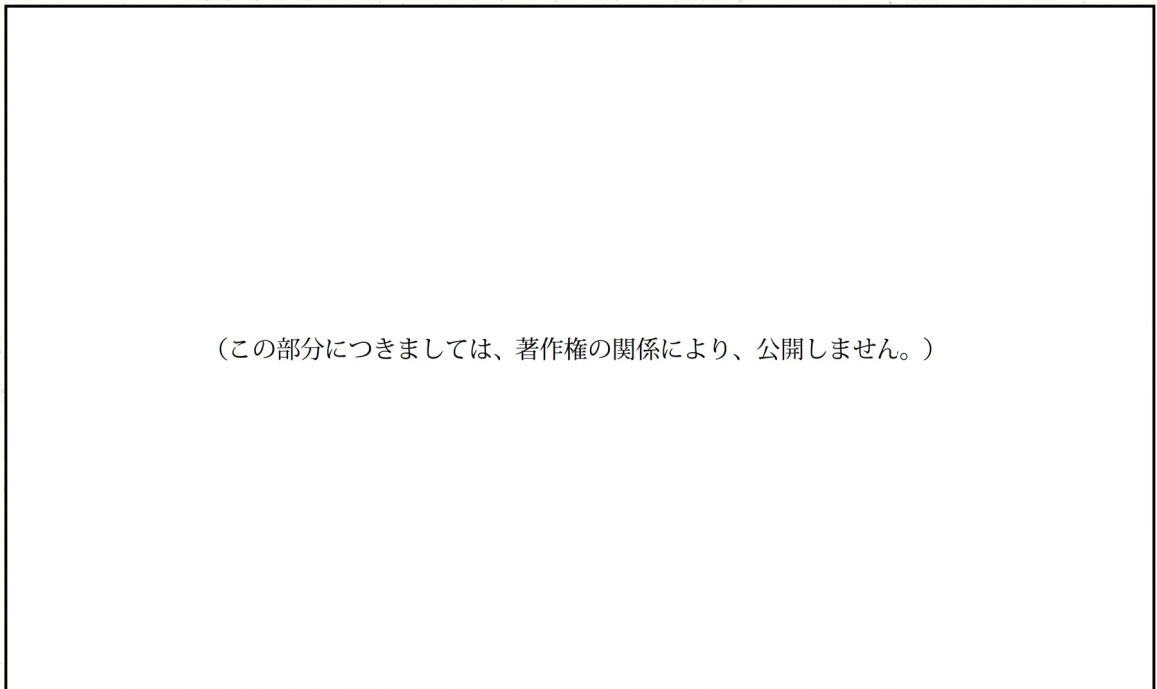
1960年代の中山間地域における過疎現象の発生のメカニズムを、人の動き（図1）や中山間地域の経済システム（図2）などを手掛かりにして、日本経済の動きと関連させて述べよ。

図1 日本の人口移動（社会移動）の推移（1955～1980年）



出所：総務省「住民基本台帳人口移動報告」より作成。

図2 中国山地・中山間地域の経済システム



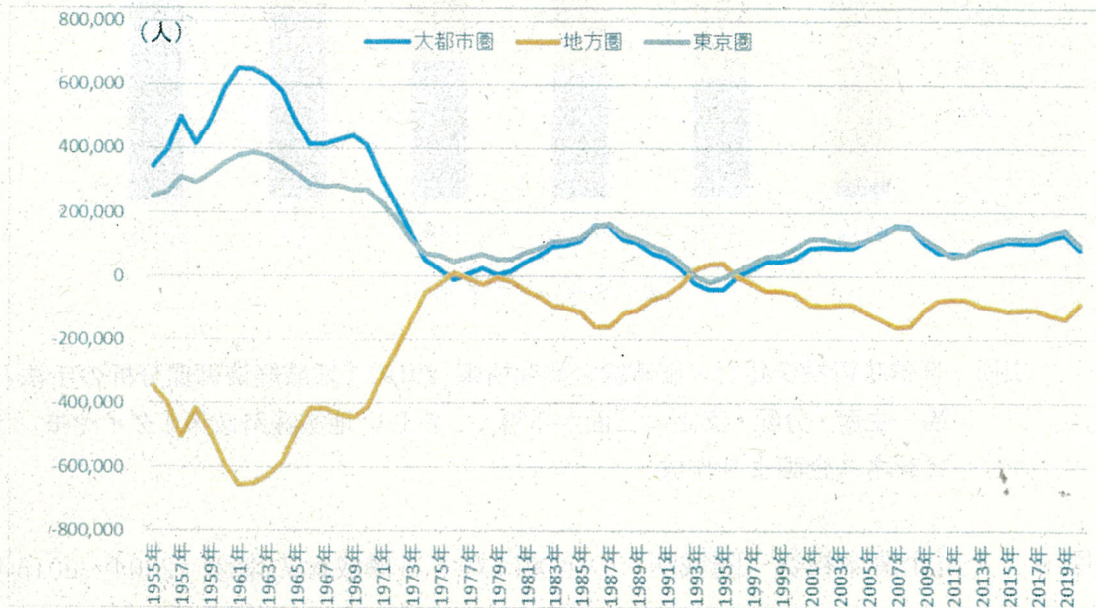
注：厩肥は、家畜の糞尿と藁や落葉等を混合し、牛馬に踏ませることで腐熟させた有機質肥料。

出所：永田恵十郎[1999]『地域資源の国民的利用』農山漁村文化協会より作成。

問題 2

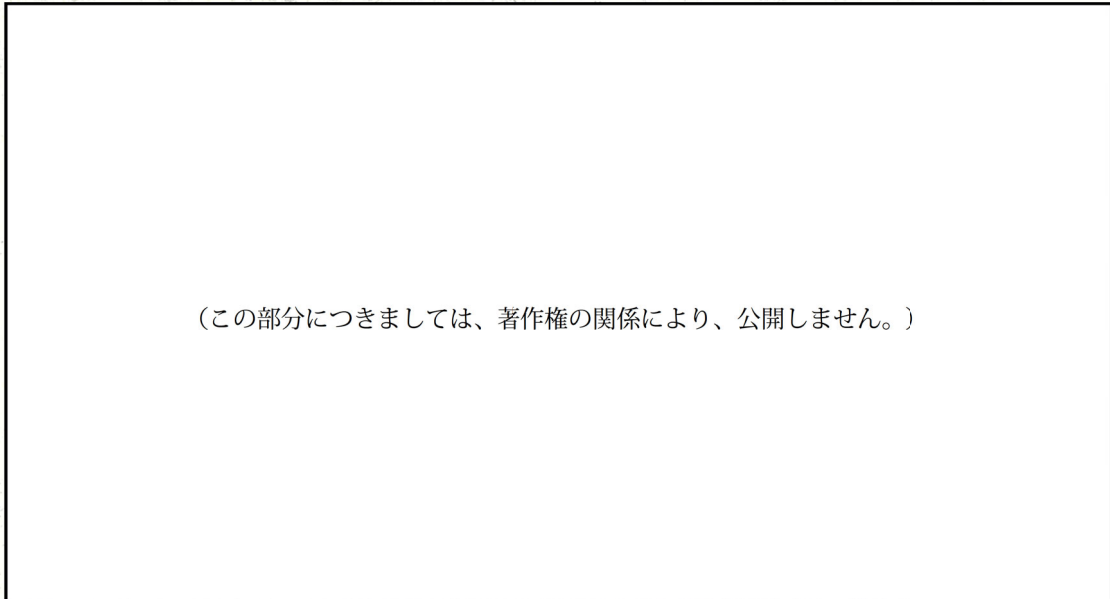
1980年代中葉以降、東京圏に人口や経済機能が集中する「東京一極集中」の国土構造が形成されていると言われている。図3～図5を参考にして、「東京一極集中」の国土構造が形成された理由を説明するとともに、その構造が地方圏にどのような問題をもたらしているのか具体的に述べよ。

図3 日本の人口移動（社会移動）の推移（1955～2019年）



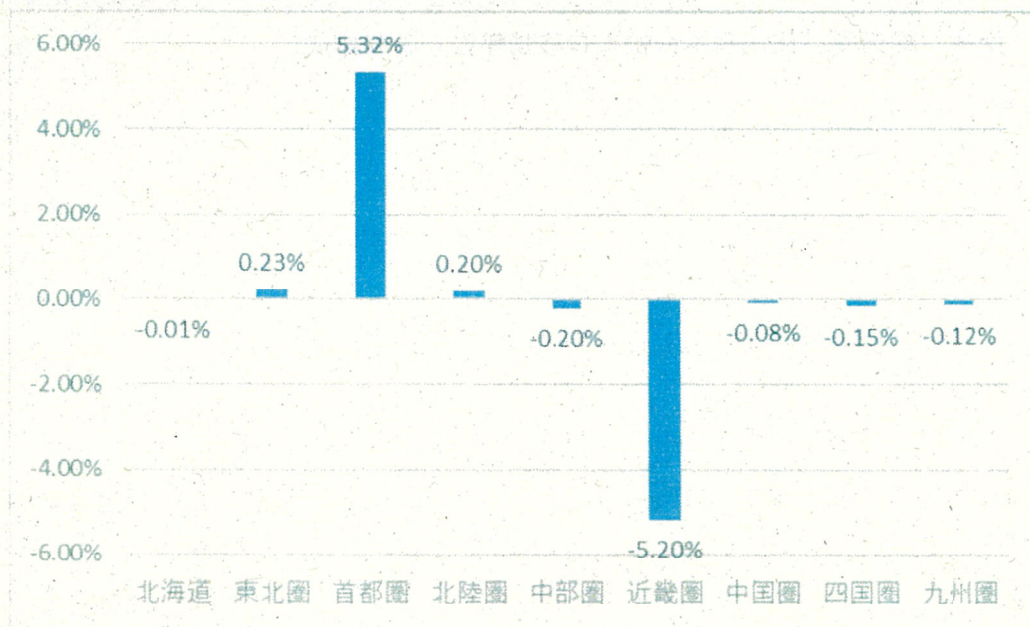
出所：総務省「住民基本台帳人口移動報告」より作成。

図4 東京圏と他地域の各種指標 (2010年代後半)



出所：日本政策投資銀行・価値総合研究所編[2019]『地域経済循環分析の手法と実践—生産・分配・支出の三面から導く、新しい地域経済政策』ダイヤモンド・ビジネス企画より作成。

図5 上場企業本社数(圏域別)の全国に対する構成比の増減(2004~2015年)



出所：国土交通省[2019]「企業等の東京一極集中の現状」より作成。